

日時：平成28年7月13日(水) 14:00～16:00

場所：大阪府寝屋川保健所 2階講堂

■議題

(1) 地域医療構想について

「大阪府地域医療構想(大阪府保健医療計画別冊)」に沿って、事務局が説明
意見等なし

(2) 地域医療介護総合確保基金について

資料1～7に沿って、事務局が説明
意見等なし

(3) 北河内在宅医療懇話会での意見集約の方法について

資料8～10、参考資料1に沿って、事務局が説明
(意見等)

- 先進事例を紹介していただきたい。
- 市単位で仕事をする人が多いので、市ごとには意見交換ができれば良いと思う。
- 北河内地域の進捗状況を知りたい。
- 医師会との関わりが強いが、全体で取り組んでいく課題も多いと思うので、いろいろなお意見を伺いたい。
- 在宅医療や後方支援については、急性期等の分野ごとに異なるので、本日の資料を持ち帰って検討し、次回ある程度の答えが出せたらと思う。
- 市の規模が小さく関係者で話し合う機会があるため、この会議では、事例紹介や地域の課題をそれぞれの立場から話し合えたらと思います。
- 会議を通じて在宅医療の分野で管理栄養士ができることがあればご指導いただきながら進んでいきたい。
- テーマが広いので、事例紹介などグループ討論で意見交換をしたら良いと思います。
- 医療関係施設のマップのように、介護関係のマップがあると議論の参考になると思います。
- 医療分野は専門外であるが、在宅医療と介護の連携といったテーマで議論に加わりたい。北河内地域の代表として参加しているので、市ごとの話し合いは難しい。
- 在宅医療・介護連携推進事業の進捗状況については、(ア)～(ク)の事業でとっかかりとなる事業を実施しているが、最終的にどこまで進めていくのか分かりにくいところ

があるので、医療の側からのご意見や、他市の事例を伺いながら、どこまで進めていくのか見定めていきたいと思えます。

○多くの課題がありテーマを決めるのが難しい。

何かをまとめるという会議ではないので、多くの意見を伺いたい。

○資料が多く、読みこなすのは大変ではあるが、いろいろなご意見をいただきたい。

北河内には7市、6医師会があり、在宅医療は医師会が主体となってやっていく必要がありますが、医師会によって温度差もあり、皆様のご意見を伺いながら標準化していきたいと思えます。

(4) その他

○くすのき広域連合に参加していただいたほうがよいでしょうか。

○議長：構成3市で調整してください。

※ 後日、3市から連絡があり、くすのき広域連合は参加しない。

第2回 北河内在宅医療懇話会 議事概要

日時：平成28年8月24日(水) 14:00～16:00
場所：大阪府寝屋川保健所 2階 講堂

■ 議 題

(1) 地域医療介護総合確保基金の意見について

資料1に沿って、事務局が説明

【意見等なし】

(2) 在宅医療の推進に係る意見交換について

《在宅医療・介護連携推進事業の取り組み紹介》

資料3に沿って、各市から取り組みの報告

【意見等なし】

《「医療資源の充実の方策1、「在宅医療」に関する意見交換》

資料2に沿って、グループワーク後、各グループから意見交換の内容を報告した。

【主な意見】

- 医療資源の充実について、支援集は大変役に立っている。
- 個人情報を含めた病院間の情報共有は難しい。ICTの活用を含め今後の課題。
- 在宅支援診療所の制度はあまりにもハードルが高く、在宅医が増えない。
- 北河内地域内でも格差が大きい。格差解消のため、情報共有の場として懇話会は重用。
- 栄養ケア、訪問歯科もモデルケースなどの情報を提示してほしい。
- 病院から在宅、在宅から病院の入退院の情報共有が必要。
- 薬剤師による在宅の管理指導は、患者の負担が増えるため難しい。
- 多職種連携は顔の見える関係づくりが重要。
- 在宅医療について理解不足もあるので、研修会等の情報提供が必要。
- 在宅の環境整備にも費用がかかり、整えられない患者もあり受け皿の検討も必要。
- 24時間対応のためには、個人薬局や在宅医のグループ化が必要だが制度上難しい。

【まとめ】

- 問題点の共有ができた。
- 顔の見える関係づくりのため、「足をつかって稼いでいる」ことに感銘を受けた。
- 地域の人材を信頼することが大切だと思った。
- 活発に意見交換ができてよかった。

